



東亜ディーケーケー株式会社  
平成29年3月期第2四半期決算補足説明資料  
(東証1部:6848)

平成28年10月

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

# 平成29年3月期第2四半期決算サマリー(前年同期比)



- ・売上高は海外(中国向け)で増進したが、国内は伸び悩み減収
- ・収益は計測器事業と不動産賃貸事業の売上高減少により減益
- ・単月黒字化85ヶ月連続記録更新中

(単位:百万円)

	H27.2Q 実績	H28.2Q 実績	前年同期比増減		H28.2Q 公表値
			金額	%	
売上高	6,669	6,377	△292	△4.4	6,400
営業利益	453	361	△92	△20.3	360
経常利益	480	410	△69	△14.5	370
四半期純利益	281	234	△46	△16.6	210

(表示単位未満を切り捨て)

## 計測機器事業

売上高6,268百万円(4.1%減)、セグメント利益692百万円(8.8%減)

- 国内の売上高は、依然として設備投資の力強さが欠け、総体的に伸び悩み減収
  - ①環境・プロセス分析機器分野の基本プロセス、大気・排ガス、上下水道が減少
  - ②科学分析機器分野のラボ、ポータブルは増加したが医療用関連機器は減少
  - ③電極・標準液、保守・修理は増加
- 海外の売上高は、中国向け環境用水質で増進し大幅に増収
- 利益面は、国内市場における環境・プロセス機器分野の売上高減少により減益

## 不動産賃貸事業

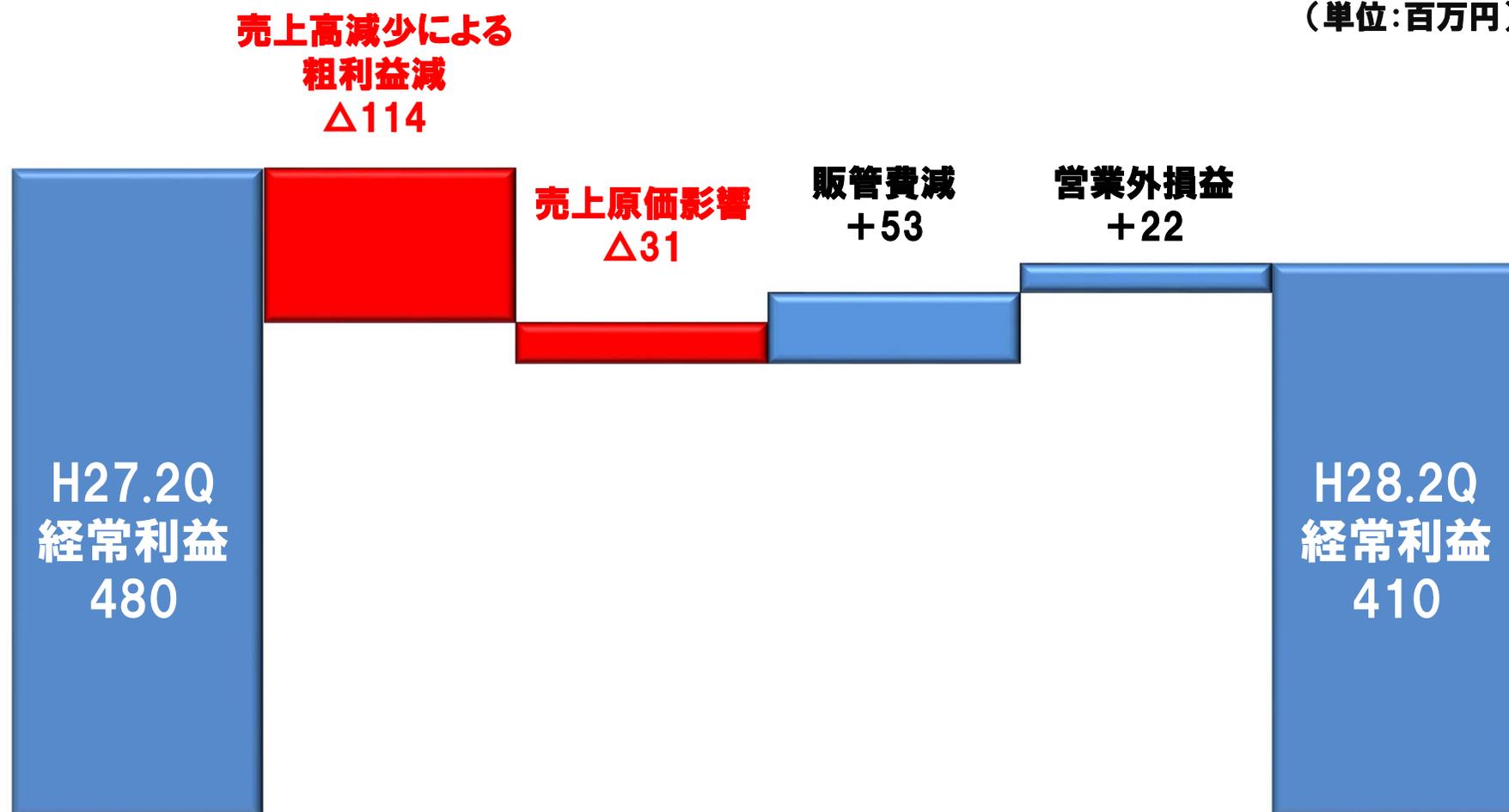
売上高108百万円(18.6%減)、セグメント利益56百万円(30.1%減)

- 狭山貸店舗の契約満了にともなう解約により減収・減益

# 第2四半期経常利益増減分析(前年同期比)



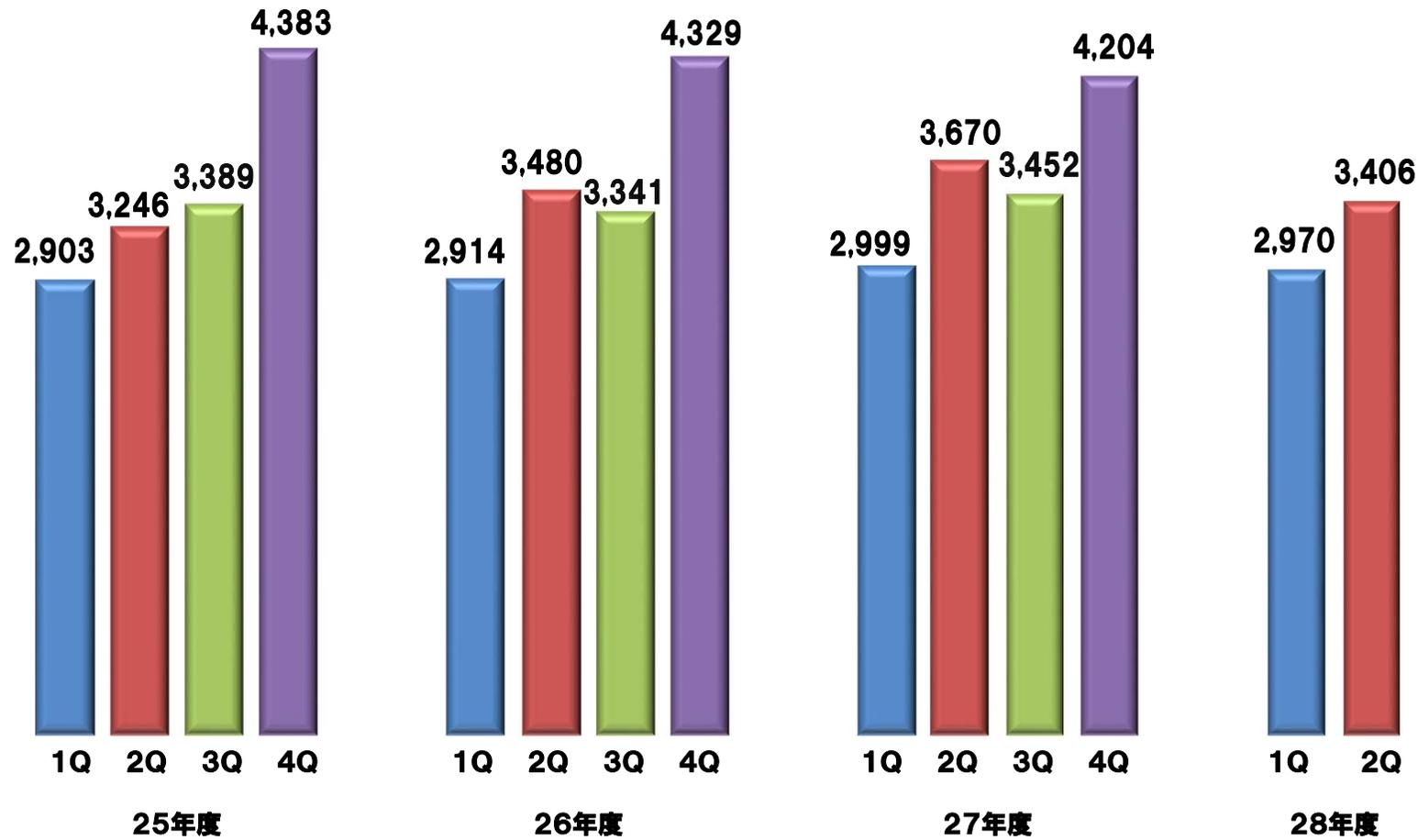
(単位:百万円)



# 四半期別経営成績（売上高）



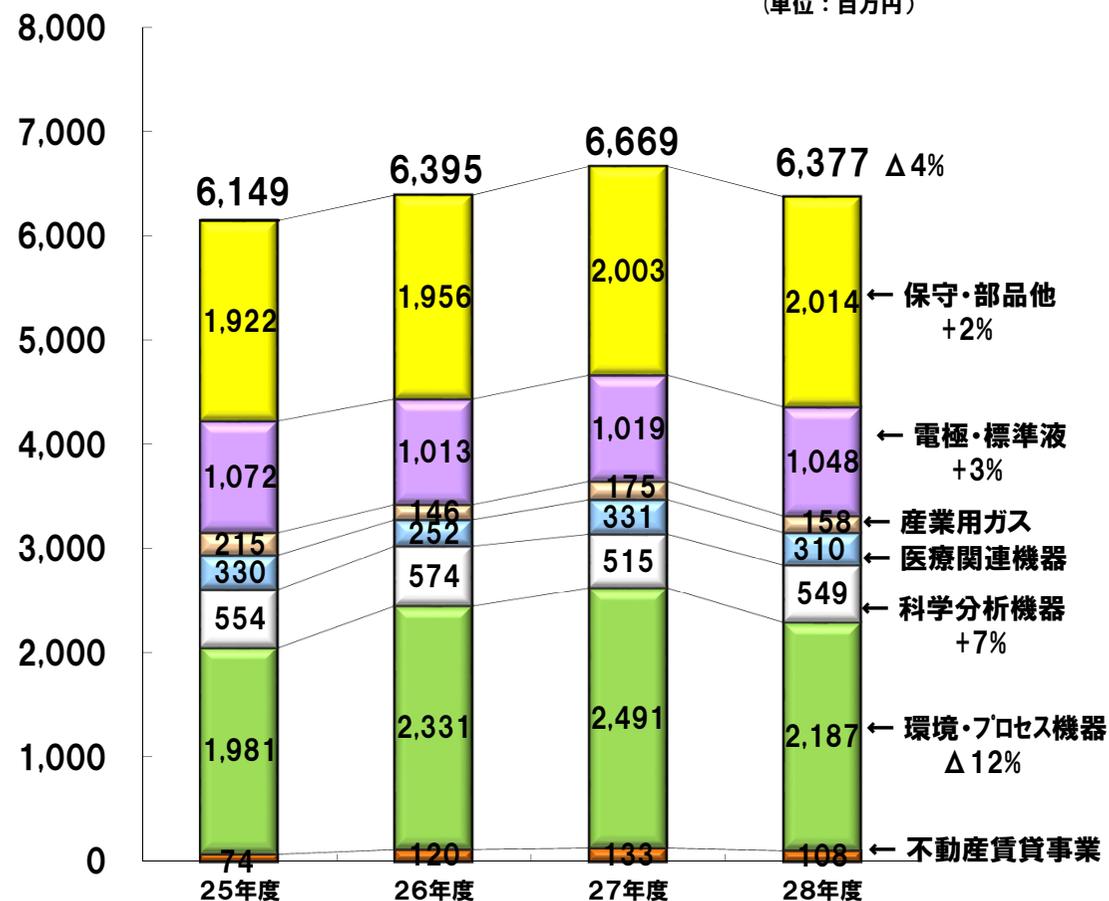
（単位:百万円）



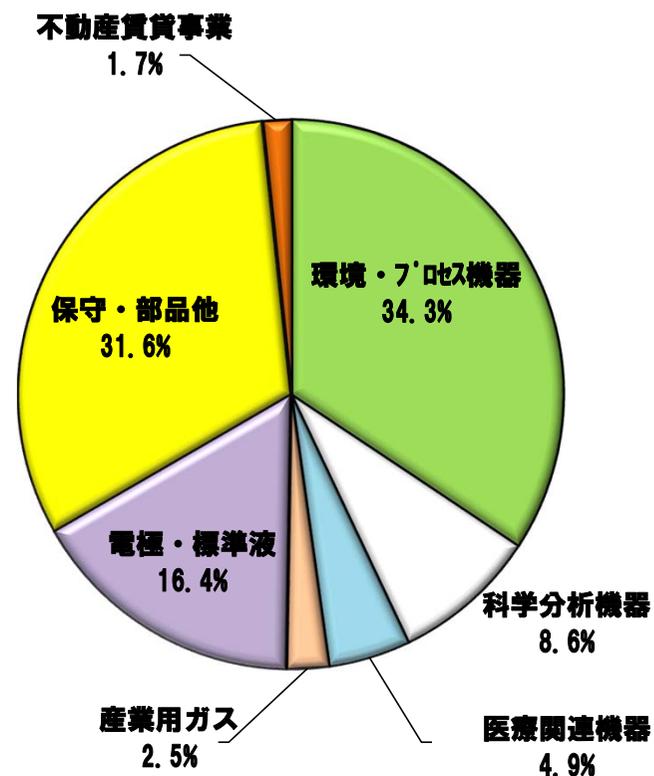
# 第2四半期売上高推移と構成比

## 売上高推移

(単位：百万円)



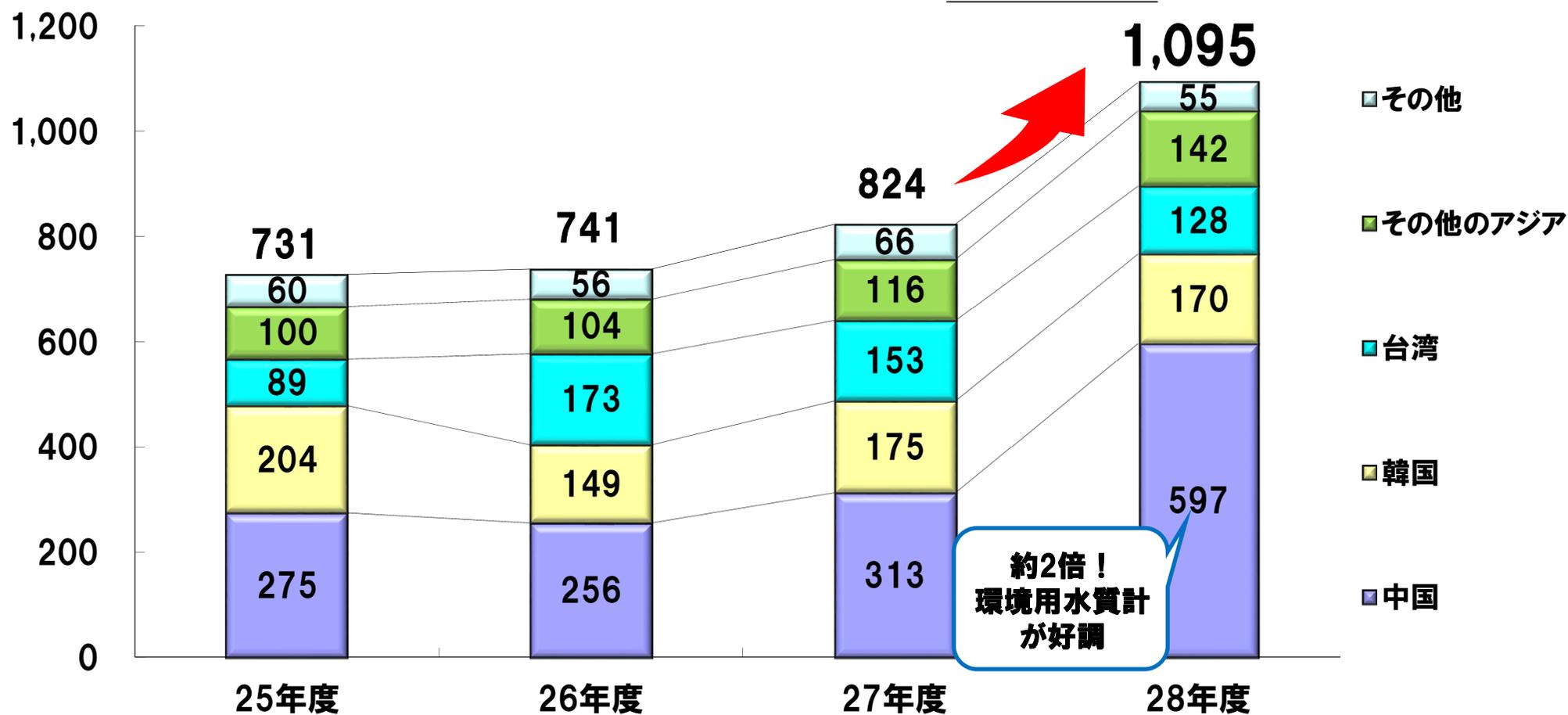
## 売上高構成比



# 第2四半期海外売上高推移

対前年同期比 **+32.9%**

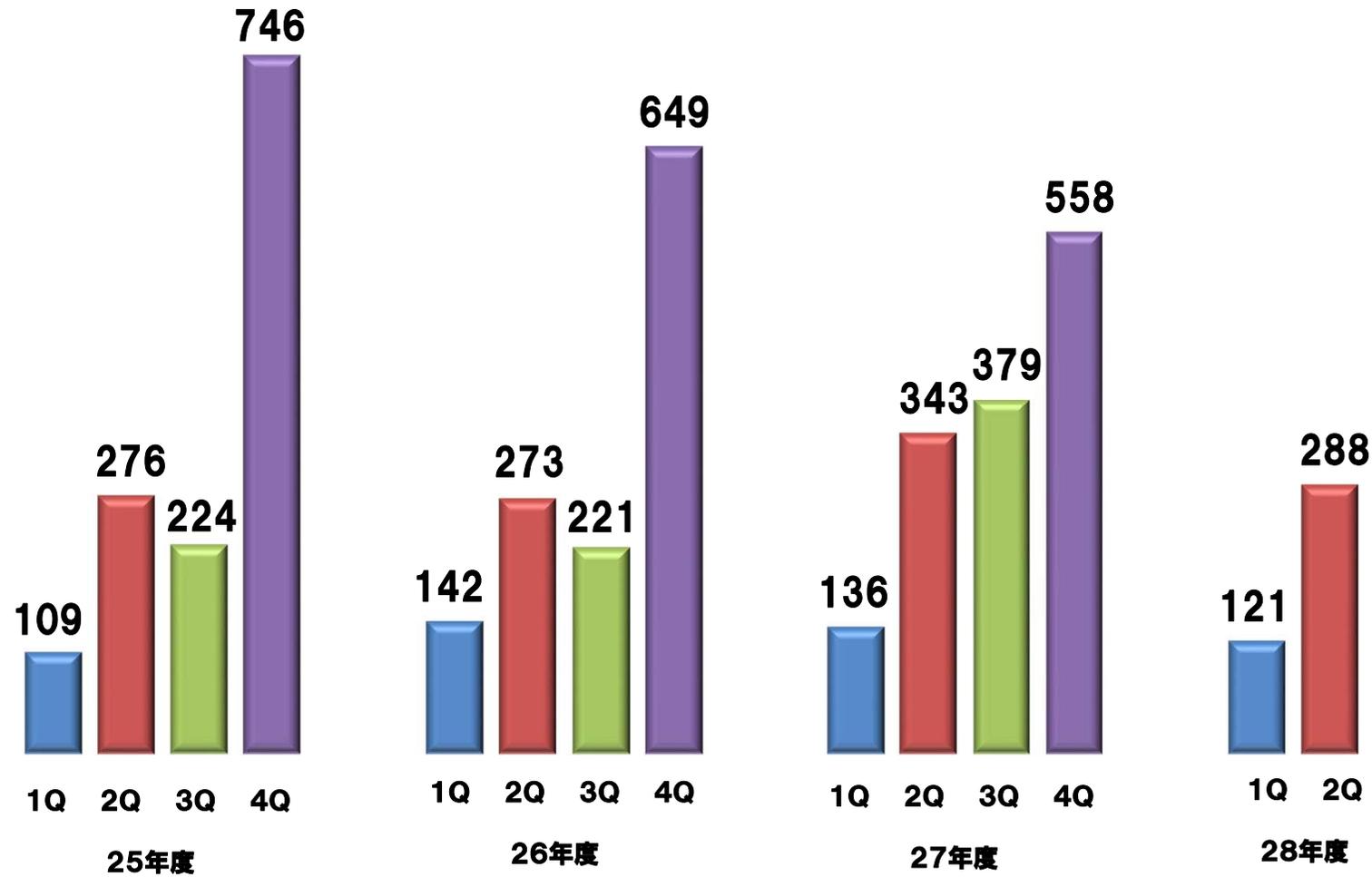
(単位:百万円)



# 四半期別経営成績（經常利益）



（單位:百万円）



# 貸借対照表、損益計算書及びキャッシュ・フロー計算書(要約)



## 貸借対照表

(単位:百万円)

	前期 28年3月末	当期 28年9月末	増減
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	12,976	12,714	△262
現金及び預金	4,869	5,441	571
売掛金及び受取手形	5,533	4,630	△902
棚卸資産	1,937	2,083	145
その他	635	558	△76
固定資産	5,675	5,620	△55
資産合計	18,651	18,334	△317
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	2,923	2,542	△381
固定負債	3,267	3,227	△40
負債合計	6,191	5,769	△422
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	12,003	12,000	△3
資本金	1,842	1,842	—
資本剰余金	1,297	1,297	—
利益剰余金	8,875	8,871	△3
自己株式	△11	△11	△0
その他の包括利益累計額	456	564	107
純資産合計	12,459	12,564	104
負債純資産合計	18,651	18,334	△317

1. 総資産は売掛金及び受取手形の回収などが進み317百万円減少
2. 自己資本比率は68.5%となった

## 損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 27年4月1日 27年9月30日	当第2四半期 28年4月1日 28年9月30日	増減
売上高	6,669	6,377	△292
売上原価	4,061	3,914	△146
売上総利益	2,608	2,462	△145
販売費及び一般管理費	2,155	2,101	△53
営業利益	453	361	△92
営業外収益	34	55	21
営業外費用	7	6	△1
経常利益	480	410	△69
特別利益	—	0	0
特別損失	4	0	△4
税金等調整前四半期純利益	475	410	△65
法人税等	194	175	△18
四半期純利益	281	234	△46

## キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 27年4月1日 27年9月30日	当第2四半期 28年4月1日 28年9月30日	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	649	1,020	370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84	△153	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△306	△295	11
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	258	571	313
現金及び現金同等物の期首残高	3,353	3,558	205
現金及び現金同等物の期末残高	3,612	4,130	518

# 平成29年3月期通期業績予想(修正あり)



当第2四半期連結累計期間の業績は、官公庁向けの上水道用分析計及び環境用大気分析計を中心に販売が伸び悩み減収となりました。加えて、今後も厳しい国内需要環境が続くものと判断したことから、平成29年3月期連結業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益をそれぞれ修正いたします。

しかしながら、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本日別途「固定資産の譲渡及び特別利益(固定資産売却益)の計上に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、埼玉県狭山市に賃貸用不動産として保有しております土地を売却することにより、特別利益を330百万円計上するとの見通しであることから、通期予想900百万円を1,030百万円に上方修正いたします。また、当該土地の売却代金の一部は、医療関連機器専用の新工場建設資金に充当いたします。

なお、平成29年3月期の配当予想(年間12円)につきましては修正の予定はありません。

(単位:百万円)

	H28.3 実績	H29.3 業績予想	H29.3 修正業績予想	増減	
				金額	%
売上高	14,326	14,500	14,000	△500	△3.4
営業利益	1,367	1,200	1,100	△100	△8.3
経常利益	1,418	1,300	1,150	△150	△11.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	931	900	1,030	130	14.4

## 狭山テクニカルセンター内に「医療関連機器専用」の新工場建設 ～水・大気・ガスの3本柱に次ぐ4本目の柱である医療の事業拡大へ～

- 市場ニーズの高まり(大手医療機器メーカーからの委託生産による増産要請)への対応
- 人工腎臓用粉末型透析用剤溶解装置と開発予定の臨床医療用製品の生産工場
- 医療関連分野の売上高は3年後に約15億円(現在の1.5倍)を見込む

### 建設の目的

- 生産設備増強 : 生産能力500～600台/年(従来比約2倍)
- 品質管理向上 : 粉末型透析用剤溶解装置は医療機器には該当しないものの、今後の製品開発に向け、医療機器工場と同水準の設備を完備
- 作業環境整備 : 作業環境と効率に配慮した工場設計

### 新工場の概要

- 所在地 : 埼玉県狭山市北入曽613
- 建屋概要 : 延床面積 約3,300㎡ 鉄筋コンクリート地上4階建
- 主な用途 : 生産ライン、試験評価設備、倉庫
- 着工/竣工予定 : 平成29年1月/平成29年9月(平成29年10月から稼働)
- 投資額 : 約12億円



新工場 完成イメージ図

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

## ＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社  
経営戦略部 経営企画課

電話：03-3202-0242

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：<http://www.toadkk.co.jp/>